

5 主要な施策経費

複数の柱に関連する事業については、原則として最も関連の深い柱に掲載した。
なお、一つの事業が複数の柱に関連する場合、最も関係する柱への掲載を主とし、それ以外への柱は(再掲)としている。このため、事業としては初出であっても(再掲)を記しているものがある。

(単位：千円)

「次期総合計画」に沿った取り組み

(1) 人材創造のまち

「未来のまちを支える人材が次々と育つまち」を目指す。
これまでの取組を活用するとともに、ソフトが重視される時代に対応するため、次の時代をリードする人材の育成、学校教育の充実と子育て支援、高齢者の能力の活用、地域で活躍する人材の確保、市民の自信と誇りの醸成を図る施策を積極的に推進する

<子どもの特性を伸ばす(教育の北九州方式の推進)>

新しいスタイルの学校づくり事業

1,000 (教育委員会)

構造改革特区制度の活用をはじめとして既存の枠にとらわれない発想による新しいスタイルの学校づくりを引き続き検討する。

【平成18年度開校予定の新しいスタイルの学校】

ひらおだい四季の丘小学校 豊かな自然環境の中で体験活動を重視

仰星学園高等学校 不登校や引きこもり傾向にある子どもたちを支援

日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校 スポーツ選手とその指導者を養成

高等養護学校新設及び戸畑高等専修学校の移転

820,000 (教育委員会)

平成19年4月開校を目指し、高等養護学校を新設するとともに、戸畑高等専修学校を移転・併設する。

新学力向上推進事業

347,000 (教育委員会)

市立小中学校で習熟の程度に応じた少人数指導や観点別到達度学力検査を実施するとともに、指導方法や指導体制の工夫・改善を図る。

新 ジュニアわくわくアートミュージアム

3,600 (教育委員会)

子どもたちの感動する心や豊かな情操を養うため、美術館を積極的に活用し、美術に親しむ態度を育てるとともに、学校の美術教育活動を支援する。

新 アジアジュニア卓球選手権2006北九州大会開催事業

20,000 (教育委員会)

アジア各地域から約20カ国、250名のジュニア選手が参加する大会を開催することにより、本市の活性化及びスポーツ振興を図る。

幼保小連携事業

9,900

(保健福祉局・教育委員会)

乳幼児期から小学校卒業までの継続的な教育を推進するため、市内モデル3校区で、幼稚園、保育所、小学校が連携し、教職員の合同研修や、乳幼児・児童、教職員相互の交流活動、国際理解教育プログラム開発事業を行う。

また、「幼保小連携推進会議」において、幼保小の連携、幼児教育及び幼稚園と保育所の施設のあり方等について検討する。

新しい幼児教育振興事業

29,500 (教育委員会)

公立・私立幼稚園相互の連携強化、幼保総合施設の設置の可能性についての調査等を行う。

新教育フォーラム in 北九州

5,000 (教育委員会)

本市教育の現状や新しいスタイルの学校づくりなどを広く市民一般に情報発信することを通して教育を市民全体で考える機会とするため、教職員のみならず市民参加による講習会、実践発表大会を開催する。

<子どもの成長と子育てを支援する>

乳幼児医療費助成事業

1,628,000 (保健福祉局)

乳幼児の健康保持と健やかな育成を図るため、入院については就学前まで、通院については5歳未満まで、医療費の助成を行う。また、これまで患者負担となっていた初診料についても、福岡県の補助(4分の1)を受けて平成19年1月から助成対象とする。

多様な保育サービスの拡充

1,223,429 (保健福祉局)

多様化する保育ニーズに対応するため、延長保育、一時保育、休日保育、特定保育、病児・病後児保育事業など、保育所を中心とした子育て支援の充実を図る。

放課後児童クラブの整備・拡充

453,384 (保健福祉局)

放課後、保護者のいない小学校低学年児童の健全育成を図るとともに、子育てと仕事の両立を支援するため、放課後児童クラブの設置を進める。あわせて、開館時間の延長、障害児の受け入れなどの促進に取り組む。

平成18年度整備予定：4か所(新設2、移設2)

すくすく子育て支援事業

50,000 (保健福祉局)

安心して子どもを生み育てることができる地域づくりを推進するため、市民センター等で妊産婦・乳幼児なんでも相談等子育てに関する事業を行う。

また、妊娠・出産・子育ての期間に継続した家庭訪問指導を行い、母子の健康保持のための保健指導や養育上必要な支援を実施する。

子育てに配慮した公園の整備

10,000 (建設局)

乳幼児期の屋外における自然体験や社会体験、子育て中の親同士のコミュニケーションの場として、既存公園に子育てに配慮したコーナーの設置を推進する。

家庭の教育力向上事業

19,590 (教育委員会)

家庭教育に関する啓発や学習機会の提供などを行い、市民一人ひとりに家庭教育の重要性を知らせ、子育てを社会全体で支える機運を醸成する。

<時代をリードする人材をつくる>

市内大学等充実支援事業

422,422 (産業学術振興局)

地域全体の教育研究水準を高めていくため、市内大学等の連携や学部の新設・定員増加を支援するとともに、新たな大学等の市内進出を支援する。

北九州市立大学運営事業

2,660,000 (産業学術振興局)

平成19年度に予定されているビジネススクールの設置準備や、入試から就職まで一貫した教育の仕組みづくりなど、北九州市立大学の教育研究の高度化・個性化を支援する。

<市民の力を「まちの宝」とする(市民が活躍できるまちづくり)>

地域防犯対策事業(再掲)

73,439 (総務市民局)

<高齢者が活躍できるまちをつくる(「生涯現役」のまちづくり)>

新生涯現役夢追塾運営事業

38,000 (保健福祉局)

これから高齢期を迎える世代を中心に退職後も生涯現役として、その技術や経験を活かし産業活動などの担い手として活躍していく人材の発掘と育成を行う。

新継続雇用制度等導入推進アドバイザー派遣事業

3,000 (産業学術振興局)

高齢者雇用安定法の改正に伴う継続雇用制度等の導入推進を図るため、市内事業所に制度の整備等についてアドバイスを行う専門家を派遣し、高齢者の雇用促進を図る。

<新たな「北九州市の文化」を創造する>

(仮称)北九州市文学館運営事業

85,100 (経済文化局)

平成18年秋の(仮称)北九州市文学館の開設にむけて、準備や館の運営、各種展示事業等を実施する。

北九州劇場文化活性化事業

265,000 (経済文化局)

北九州芸術劇場を拠点とし「創る、観る、育つ」をコンセプトに、芸術劇場オリジナルプロデュース作品を全国発信して、「演劇の街 北九州」を全国にアピールする創造事業、エンターテインメントから芸術性の高いものまで幅広い作品を提供する公演事業、地域の人材育成、舞台芸術普及および社会貢献を目指す学芸事業を実施する。

新 北九州市モラル条例の検討

9,400 (総務市民局)

市民が守るべきモラルを明確にし、その違反者に対し罰則等を科すなど新たなルールづくりのため、モラル条例の検討を行う。

新(仮称)配偶者暴力相談支援センターの運営

4,300 (総務市民局)

配偶者等からの暴力に関する相談やDV被害者の自立支援に向けた情報提供等を行うため、(仮称)配偶者暴力相談支援センターを平成18年4月に開設する。

(2) 安全・安心のまち

「地域とのつながりの中、安全で安心して暮らせるまち」を目指す
少子高齢化などの社会構造の変化に対応するため、安心して生き生きと暮らせる地域
社会の構築、セーフティネットの構築、災害に対する危機管理能力の向上、「市民の健
康・元気づくり」の促進についての取り組みを推進する。

<地域で地域を支える仕組みをつくる>

「新たな地域づくり」の促進

127,343 (総務市民局)

「まちづくり協議会の組織の充実」や、「地域総括補助金の導入促進・内容充実」等
を図ることにより、まちづくり協議会を中心とした地域づくり活動を支援する。

市民センター整備事業

639,500 (総務市民局)
(他に債務負担5,500)

地域住民のあらゆる地域活動の拠点となる市民センターについて、建替えや改修を
計画的に行う。

健康福祉北九州総合計画及び各分野別計画の推進

18,772 (保健福祉局)

健康福祉分野のマスタープラン「健康福祉北九州総合計画」及び各分野別計画に基
づいた、各種施策・事業の展開を図る。

マスタープラン

健康福祉北九州総合計画《平成18年度～平成22年度：5年間》

各分野別計画

北九州市高齢者支援計画《平成18年度～平成20年度：3年間》

北九州市障害者支援計画《マスタープランと同じ》

新新子どもプラン(北九州市次世代育成行動計画)《平成17年度～平成21年度：5年間》

<地域活動を活性化する(地域活動のステップアップ)>

区の新たな魅力づくり事業

52,700 (総務市民局)

区の特徴を生かし、区民が誇れる魅力を創出するなど、区の新たな魅力づくりにつ
ながる事業を区民と協働して進める。

<安全で安心して暮らせるまちをつくる>

地域防犯対策事業

73,439 (総務市民局)

生活安全パトロール隊や日本ガーディアン・エンジェルズなど、地域や市民による
自主的な防犯活動を促進する。また、子供の防犯能力の向上を図るため、小学生等を
対象とした防犯セミナーを拡大して実施する。

暴力追放啓発推進事業

13,360 (総務市民局)

暴力追放に向けた啓発活動や研修、大会の実施等を通じて、暴力追放意識の高揚を
図る。

新 建築物等安全・安心推進事業

10,000 (建築都市局)

住宅・建築物の耐震改修の促進や、アスベスト対策、老朽危険家屋等への是正措置など、建築物の適正な管理を促進する。

地域における防災対応力の向上(再掲)

8,080 (消防局)

防災に関する各種啓発事業や住民参加型災害図上訓練の実施等により、地域住民で構成される自主防災組織(市民防災会)の育成指導や支援を行う。

交通事故を削減する対策の推進

2,954,000 (建設局)

交通事故を削減し、道路を安全な空間とするために、交通安全の確保に向けた道路整備を進める。

新 市民との協働によるあんしん道事業

100,000 (建設局)

市民と協働で通学路点検などを行い、市民が安全に安心して暮らせる道路整備を進める。具体的には、薄暗い場所の照明灯の設置、見通しの悪い場所へのカーブミラーの設置などのきめ細かい対応をとる。

身近な道路の整備や維持補修の充実

6,360,720 (建設局)

日常生活に欠かせない道路について、安全で快適に利用できるよう整備を進めるとともに、維持補修の充実を図る。

新 安全・安心の公園づくり事業

20,000 (建設局)

公園の遊具をより安全に利用できるように、利用者の意見を取り入れながら、遊具の配置の見直しや転落防止等のための構造上の改善を行う。

総合的な治水対策の推進

11,022,566 (建設局)

(他に債務負担2,146,680)

河川整備や下水道雨水整備を進めることにより、総合的な治水対策を推進する。

新 障害程度区分認定調査及び認定審査会等事業

202,200 (保健福祉局)

平成18年4月の障害者自立支援法の施行に伴い、障害者の福祉サービスの必要性を総合的に判断するため、認定調査を行うとともに審査会を設置し、公平なサービス提供を推進する。

新 介護予防事業（地域支援事業）

301,648 （保健福祉局）

生活機能が低下し要介護状態となるおそれのある高齢者に対して、運動器の機能向上・栄養改善・口腔機能の向上を図るための通所型介護予防事業を行う。

また、地域に潜在する閉じこもり・うつ・認知症等のおそれのある高齢者に対して、訪問による相談・支援を行う訪問型介護予防事業を実施する。さらに、全高齢者に対して、介護予防や健康づくりの重要性と正しい知識を普及・啓発する。

新 地域包括支援センター運営事業（地域支援事業）

571,234 （保健福祉局）

地域における高齢者の実態を把握し、必要なサービスにつなぐ総合的なマネジメント機能を持ち、地域を包括的にケアしていく拠点となる地域包括支援センターを設置・運営する。

新 総合相談・支援事業（地域支援事業）

28,204 （保健福祉局）

介護保険サービスの利用にかかる相談、高齢者のための法律相談や住宅相談を行う。また、介護に関して常時相談でき、緊急時に対応できる24時間365日緊急対応事業を実施する。

新 包括的・継続的マネジメント事業（地域支援事業）

8,195 （保健福祉局）

公正・中立な介護保険制度の運営、サービスの質の向上及び高齢者の尊厳擁護を図るために「北九州市高齢者介護の質の向上委員会」を設置する。また、介護サービス従事者の研修等を通じ、連携強化を図ることにより、介護サービスの質の向上をめざす。

介護保険制度の円滑な実施

2,424,497 （保健福祉局）

第三期介護保険事業計画（計画期間：平成18年度～20年度）に基づき、介護サービスの適正な給付を行うとともに、質の確保・向上を図るため、適正なサービス利用に向けた利用者、事業者への取り組みを行う。

新 AEDの導入

8,190 （教育委員会）

安全・安心な学校環境整備のため、養護学級・通級指導教室のある中学校にAED（自動体外式除細動器）を導入する。

<セーフティネットを築く>

新 消費生活相談窓口の各区役所への配置

11,770 （総務市民局）

より身近なところで消費生活相談が受けられる体制を整えるため、消費生活センターを統合するとともに、戸畑区を除く各区役所に消費生活相談窓口を配置し、市民サービスの向上を図る。

新 総合相談・支援事業（地域支援事業）〔再掲〕

28,204 （保健福祉局）

< 危機管理能力を高める >

危機管理推進事業

12,500 (総務市民局)

想定される危機事象別の対応マニュアルの整備や関係機関との連携体制の構築など、危機管理体制を充実・強化する。また、国民保護法で各市町村に策定を義務付けられた「国民保護計画」の作成を行う。

新 臨海部防災拠点の整備

1,484,200 (港湾空港局)

災害時の避難・復旧活動の拠点として、耐震強化岸壁と背後のオープンスペースが一体となった臨海部防災拠点を整備する。

地域における防災対応力の向上

8,080 (消防局)

防災に関する各種啓発事業や住民参加型災害図上訓練の実施等により、地域住民で構成される自主防災組織(市民防災会)の育成指導や支援を行う。

総合的な防災体制の整備・強化

27,858 (消防局)

災害対応マニュアルの作成、総合防災情報ネットワークシステムの効率的な運用及び防災行政無線高度化の検討等を行い、総合的な災害対応能力の向上を図る。

新 新北九州空港災害監視カメラ設置工事

30,000 (消防局)

新北九州空港の開港に伴い、航空機等の大規模災害に対応するため、新北九州空港の状況等をリアルタイムに収集するカメラを設置する。

新 北部福岡緊急連絡管事業

199,850 (水道局)

災害時など緊急時に本市と福岡都市圏で相互に水の融通を図るため、緊急連絡管の整備を行う。

< 健康に暮らせるまちをつくる >

住民主体による快適な健康づくり事業

24,297 (保健福祉局)

住民が主体となった健康づくりを推進していくために、市民センターを拠点とした健康づくり事業の実施や、地域での健康づくり活動を推進するボランティアとして「健康づくり推進員」の養成・活動支援を行う。

あわせて、「百万市民健康づくり運動」を展開し、市民一人ひとりの健康への関心を高め、自発的な健康づくりを促進する。

新 介護予防事業(地域支援事業)(再掲)

301,648 (保健福祉局)

< 地域医療の質を高める >

新 効率的で効果的な地域医療体制構築事業

9,966 (保健福祉局)

「北九州地域医療体制あり方専門委員会」の答申を踏まえ、患者の視点に立ち、より安心して信頼できる医療サービスの提供に向けた効率的で効果的な医療提供体制を確立するために、医療情報の公開、医療機関の連携促進などの取り組みを進める。

(3) 高質な都市空間を持つまち

「快適・機能的で魅力ある都市空間を持つまち」を目指す
社会資本の整備・維持コストを軽減し都市の持続可能性を高めるため、既存の社会ストックの活用や都心・副都心の機能の充実などの施策を推進し、便利で快適な「まちなか」を構築する。

< 「歩いて暮らせるまちづくり」を進める >

北九州市住まい支援事業

117,800 (建築都市局)

一定の基準を満たす良質な住宅を購入する際、借入金の利子の一部を助成することにより、市外からの転入や若年世帯の定住を促進する。

折尾土地区画整理事業

213,200 (建築都市局)

JR折尾駅周辺の既成市街地において狭隘道路や過小宅地等を解消し、安全で快適な都市空間を形成することで、まちなかの再生を図る。

< 交通の利便性を向上させる >

国道3号黒崎バイパス及び関連道路の整備

3,967,052 (建設局)

国道3号黒崎バイパス(舟町ランプ、平成19年度供用予定)及び関連道路(前田熊手線など)を整備し、通過交通と生活交通を分離することにより、物流の円滑化、安全で快適な地域環境の創出を図る。

新尾倉ランプの整備

100,000 (建設局)

北九州高速5号線と国道3号黒崎バイパスを接続する尾倉ランプを整備し、交通の円滑化や物流ネットワークの強化を図る(平成21年度供用予定)。

都心、副都心を支える道路の整備

6,545,000 (建設局)

都心や副都心にふさわしい魅力あるまちづくりを進めるとともに、都市機能の向上と求心力を高めるため、基盤となる道路整備を推進する。

公共交通との連携を促進する道路の整備

2,635,000 (建設局)

自動車交通と公共交通との良好な機能分担を進めるため、折尾地区連続立体交差事業など公共交通との連携を促進し、交通結節機能の強化を図る。

北九州都市高速道路建設事業

1,213,000 (建築都市局)

北九州高速4号線の大規模補修を継続するとともに、ETC導入に向けた調査・設計を行う。

北九州都市高速道路関連事業

863,000 (建築都市局)

北九州地域における交通の円滑化を図る都市高速道路の整備に対し、必要な支援措置として、関連する一般市道及び接続道路の整備を行う。

<都心の賑わいを創る>

紫川マイタウン・マイリバー整備事業

(建設局・建築都市局)

都心部を流れる紫川の河川改修を進め、治水対策や河川環境整備を行うとともに、周辺地区との調和のとれたまちづくりを目指して、道路や市街地等を一体的に整備し、安全で快適な都心を形成する。

紫川の整備〔一部再掲〕 480,000 (建設局)
護岸工事などを行う。

道路の整備〔一部再掲〕 996,000 (建設局)
主要幹線道路の整備を行う。

勝山公園(シンボル公園)の整備 740,600 (建設局)
本市のシンボル公園である勝山公園を紫川の親水空間と一体となった都心にふさわしい水とみどりの空間として整備する。

紫川周辺夜間景観整備事業 60,000 (建設局)
紫川周辺地区の夜間における防犯上の危険性、不安感の除去を行い、さらに回遊性の促進、親水性の確保、界隈性の演出を図るため、照明灯の改善及び設置を行う。

親水空間施設整備事業 35,000 (建設局)
勝山公園の紫川隣接部に位置する浮き桟橋に遮光施設を設置し、利用促進を図り、市民活動の支援を行う。

室町一丁目地区市街地再開発関連事業 14,700 (建築都市局)
快適な歩行空間を創出するため、周辺の道路整備を行う。

優良建築物等整備事業 72,100 (建築都市局)
景観に配慮して、周辺の歩道や河川、公開空地などを一体的に整備する民間建築物の建設を促進する。

紫川水辺の賑わい創出事業

66,000 (建設局)

都心を流れる紫川の水辺空間を活用したレガッタ大会、ペーロン大会などのイベント等を行うことにより、さらなる親水性を高めるとともに、都心の賑わいを創出する。

小倉駅南口東地区第一種市街地再開発事業

28,500 (建築都市局)

本市の玄関口である小倉駅南口に、都市計画道路と多様な機能を備えた再開発ビルを一体的に整備し、魅力ある空間を形成する。

新小倉駅北口東地区第一種市街地再開発事業

2,000 (建築都市局)

土地の高度利用と都市機能の向上を促進し、商業、居住等の複合機能の集積を高め、JR小倉駅北口の賑わいを創出する。

小倉都心賑わいづくり推進事業

75,000 (建築都市局)

地元のまちづくり団体や民間事業者と連携し、紫川周辺の公共空間を活用したイベントや小倉駅周辺での賑わいづくりに取り組むことにより、都心の賑わいと回遊性を高める。

<副都心を整備する>

新 黒崎地区商業活性化推進モデル事業

10,000 (産業学術振興局)

空き店舗の状況を広く情報発信することによる新たな出店促進や、空き店舗を利用した商業ベンチャー育成の支援を行う。

黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業

10,000 (建築都市局)

黒崎副都心の文化振興、交流促進を図り、新たな魅力と賑わいのあるまちづくりを推進するため、暫定的な利活用策を含めた「文化・交流拠点地区」の機能や施設について検討を行う。

黒崎副都心賑わいづくり推進事業

18,000 (建築都市局)

地元のまちづくり団体等を支援し、黒崎副都心のイメージアップ、賑わいづくりを進めることにより、副都心の回遊性の向上と魅力を高める。

(4) 競争力のある産業都市

「新しい技術や産業の創造にチャレンジするまち」を目指す
本市に蓄積された技術力と新たに整備された空港・港などの活用や人材力の強化を推進することにより、経済のグローバル化などにも対応した時代をリードする産業を創造する。また、人が集まる資源を活用して新たに「ビクターズインダストリー（賑わいによる産業）」の振興を図るための取り組みを推進する。

< 世界を相手に競争力のあるモノを生み出す >

新 北九州地域自動車産業振興プラン推進事業

4,000 (産業学術振興局)

本市の自動車産業振興施策の指針となるプランを策定するため、「(仮称)北九州地域自動車産業振興戦略会議」を立ち上げ、施策の強力な推進を図る。

新 自動車産業新規参入・事業拡大支援事業

26,500 (産業学術振興局)

セミナーの開催、企業の技術力向上活動や一次部品企業等との結びつき強化などにより市内中小企業の自動車関連産業への新規参入・事業拡大を支援する。

新 国際物流特区企業集積特別助成金(自動車産業振興枠)

40,000 (産業学術振興局)

自動車関連産業への新規参入・事業拡大を目指す中小企業に対して、新規設備投資にかかる経費を助成する「自動車産業振興枠」を創設する。

半導体産業振興事業

225,000 (産業学術振興局)

半導体分野のベンチャー企業の育成や実践的な人材育成を通じて、半導体産業拠点の形成を行い、半導体企業の集積を図る。

国際物流特区企業集積特別助成金

2,693,000 (産業学術振興局)

国際物流特区の認定を契機に創設したインセンティブにより、本市のさらなる企業立地の促進と雇用の創出を図る。

次世代環境産業振興事業

28,400 (産業学術振興局)

企業が保有する要素技術の蓄積に加え、北九州学術研究都市等のシーズを活かし、環境産業の創出・育成を図る。

バイオ産業クラスター形成促進事業

3,000 (産業学術振興局)

医薬品など付加価値の高いタンパク質生産技術拠点を創出するほか、地元企業によるバイオ市場への参入を促進する。

ロボット産業振興事業

39,204 (産業学術振興局)

試作段階に達したロボットの実証運用やメカ・制御・通信など要素技術の高度化を図るとともに、市民のロボットへの理解を深める。

ベンチャー・インキュベーション推進事業

25,640 (産業学術振興局)

ベンチャー企業や起業家予備軍の創出・育成を図るため、起業セミナーの開催、補助金やマーケティング調査による事業化支援、インキュベーションマネージャーによる創業から事業化までの一貫した経営支援等を実施する。

<新たな価値を創る技術と人材を産み出す>

(仮称)北九州産業技術博物館(産業技術保存継承センター)整備推進事業

1,824,400 (企画政策室)

北九州に蓄積された産業技術の保存・継承と人材育成を行う「(仮称)北九州産業技術博物館(産業技術保存継承センター)」を整備する。

新 海外連携促進事業

43,000 (産業学術振興局)

北九州学術研究都市の大学・研究機関と海外の大学等との共同研究を促進するため、アジアトップ大学等と市内大学等との連携プロジェクトについて段階的に支援を行う。

北九州学術研究都市研究基盤整備・充実事業

1,476,612 (産業学術振興局)

北九州学術研究都市内の共同研究施設等の整備や研究開発機能の充実を図るため、新たな共同利用施設の整備に着手する。

北九州学術研究都市留学生等支援事業

114,720 (産業学術振興局)

北九州学術研究都市の優秀な留学生に対し、奨学金給付や宿舍の提供など生活・研究環境の向上を支援する。

北九州学術研究都市北部土地区画整理事業

2,526,000 (建築都市局)

先端科学技術に関する教育・研究機関等の集積や自然環境に配慮した良好な住宅地の供給を図り、複合的なまちづくりを行う。

若年者の就業支援事業

84,136 (産業学術振興局)

「若者ワークプラザ北九州」において、就職関連情報の提供、就業相談及び職業紹介などを実施し、若年者の就業を促進する。また、プラザでの職業紹介に必要な求人確保するため、求人の開拓を行う。

新 重点産業人材育成促進事業

2,500 (産業学術振興局)

市、経済団体、職業訓練機関などで構成する人材育成の推進会議を設置し、職業訓練機関等による企業ニーズに即した新たな産業人材育成の促進を図るとともに、モノづくり分野における熟練技能・技術の継承や人材育成に向けて、連携の強化を図る。

北九州 e-PORT 構想推進事業

21,400 (産業学術振興局)

情報関連産業の集積・促進を図るため、北九州 e-PORT 構想の推進により、新たな IT サービス産業の創出・育成を目指すとともに、IT 技術者の人材育成に取り組む。

新「(仮称)北九州ITオープンラボ」設置事業

37,200 (産業学術振興局)

国や大学の研究機関と連携し、機材の開放や産学間のコーディネートを行う「(仮称)北九州ITオープンラボ」を設置する。

メディアコンテンツ産業振興事業

85,860 (産業学術振興局)

メディア・コンテンツ産業振興の拠点施設「エムサイト」での人材育成などを通じて、コンテンツ産業を振興する。

新モノづくり人材育成推進事業

5,000 (産業学術振興局)

本市におけるモノづくり人材の育成を強化・推進するため、本市の高度技能・技術者人材をデータベース化し、幅広い技能・技術の継承を図る。

<人が集まる資源を活かす>

新 新北九州空港アクセス推進事業

276,900 (港湾空港局)

市内の主要な拠点から空港連絡バスを運行することで新北九州空港のアクセス利便性を高め、新空港の活性化、利用促進を図る。

新北九州空港ポイントクラブ

58,700 (港湾空港局)

新北九州空港における航空機利用者の需要拡大のため、ポイントカード制度を設け、新空港の利用促進を図る。

新 皿倉山頂施設整備事業

370,500 (経済文化局)

皿倉山頂全体の新たな魅力づくりのため、山頂施設の整備を行う。具体的には、リフト代替機の整備、山頂展望施設の整備、「(旧)山の上ホテル」のビジターセンター化を図る。

新 皿倉山頂賑わいづくり事業(再掲)

19,700 (経済文化局)

到津の森公園整備事業

186,000 (建設局)

到津の森公園の施設の充実や新たな魅力づくりのため、展示施設の工夫・改良や、夜間開園対応の照明施設の整備などを行うほか、旭山動物園の動物(アザラシ、ホッキョクグマ、ペンギン)のライブ映像の配信を行う。

小倉城整備事業

139,000 (経済文化局)

(他に債務負担100,800)

小倉城及び着見櫓の屋根瓦、一部外壁の改修工事を行う。

観光客数2,000万人達成に向けた推進事業

14,210 (経済文化局)

年間観光客数2,000万人(平成25年)を目指し、本市の観光振興の指針である「北九州市観光振興プラン」を推進する。

門司港レトロ第2期事業等の整備

38,120 (経済文化局・建設局)

「JR九州旧本社ビル」の保存活用策及び散策路整備の基本計画等を策定し、門司港レトロ地区を訪れる観光客の回遊性の向上及び滞在の長時間化を図る。

新旧大連航路上屋の整備

82,400 (港湾空港局)

門司港レトロ地区内の歴史的建築物である旧大連航路上屋を新たなにぎわいの拠点として再整備する。

<新たな集客の仕組みを創る>

新 新北九州空港路線強化プロモーション事業

109,000 (経済文化局)

新規路線の就航予定先や首都圏での観光プロモーションの実施、新北九州空港を利用する旅行商品の造成などで新たな集客を図る。

新 皿倉山頂賑わいづくり事業

19,700 (経済文化局)

皿倉山頂の賑わいづくりのため、レーザーライト照明を使用した特別夜間イベントを実施するとともに無料シャトルバスの運行を実施する。

新 ビジターズインダストリー基本計画策定事業

3,000 (企画政策室)

観光客だけでなく、様々な目的で本市を訪れるビジターズ(来訪者)を増やすため、都市の魅力づくりとそのPRといった、多方面にわたる施策を総合的、戦略的に展開する基本計画を策定する。

新 海峡都市ブランド創設事業

8,300 (港湾空港局)

「海峡都市ブランド」の実現に向けて、海峡都市ブランド検討委員会(函館市、青森市、下関市、北九州市の民間代表者等で構成)で、その(海峡カクテル、海峡どんぶり等)具体化方策を検討する。また、海峡都市間の市民交流をさらに深めるため、新北九州空港を利用したチャーター便を海峡都市間で運航する。

<都市イメージを一新する>

取材協力事業(北九州フィルム・コミッション)

8,480 (広報室)

映画ロケの誘致などにより、北九州市の知名度の向上と集客力の強化を図る。

新 北九州おもてなしの道づくり事業

30,000 (建設局)

新北九州空港から小倉都心部までなどの幹線道路等の景観向上を図る。

新 市民チーム育成支援事業

30,000 (教育委員会)

Jリーグ昇格に向け、多くの市民や地元企業とともに市民サッカーチーム「ニューウェーブ北九州」を育成し、支援する。

< 港湾、空港の更なる活用を図る >

北米・欧州航路開設促進事業

96,400 (港湾空港局)

北米・欧州航路の開設を促進するため、航路を開設した船会社に対して奨励金を交付する。併せて、北米・欧州航路開設に先駆けて、この航路に接続させるための内航フィーダーの実験運航を行う。

新 国内荷主説明会事業

3,000 (港湾空港局)

ひびきコンテナターミナルにおけるフィーダー航路網の構築のため、中国、四国及び東九州地区の荷主企業を対象に説明会を行う。

新 ひびきコンテナターミナルPR事業

9,000 (港湾空港局)

海外、とりわけコンテナ貨物が急増している中国において、ひびきコンテナターミナルの知名度を上げるため、海外専門誌などを利用し、積極的なPRを行う。

新北九州空港航空貨物拠点化推進事業

69,450 (港湾空港局)

新北九州空港において、航空貨物ネットワークの拡充や物流事業者及び荷主企業等の集積を図る。

新空港PR推進事業

127,000 (広報室)

新北九州空港の知名度の向上を図るため、利用圏域及び就航先において、活字・電波等の媒体を使った広告・イベントを展開する。

新 東アジア経済交流推進機構ロジスティクス・パートナー港推進事業

8,000 (港湾空港局)

東アジア経済交流推進機構会員都市の港湾と相互に連携することにより、航路開設やポートセールス、物流システムの構築を促進する。

平成18年度は、中国市場をターゲットに高速・安定輸送が可能なROROタイプの船舶による航路誘致活動を行う。

新 モーダルシフト推進補助事業

10,000 (港湾空港局)

民間企業での環境に優しい輸送への転換(モーダルシフト)への取り組みを支援する。

< 機能強化など拠点性の拡充を図る >

新若戸道路整備事業

5,781,000

(建設局・港湾空港局)

響灘・若松地区から戸畑・小倉方面への交通アクセスの強化を図る洞海湾の横断道路を整備する。

(5) 世界の環境首都

「環境で世界に貢献するまち」を目指す

公害克服の技術と経験を活かし、世界に本市の存在感を示すため、「環境首都のグランドデザイン」に基づき、環境技術・環境産業による経済の活性化、市民が一体となった環境活動の推進、自然環境の保全など持続可能な都市づくりへの取り組みを推進する。

<市民の力でまちの「環境力」を高める>

北九州市環境首都創造事業

14,000 (環境局)

グランド・デザインに示す理念や行動原則に基づく「環境首都づくり」を総合的に推進していく。

北九州市民環境パスポート事業

43,800 (環境局)

全市統ルールのエコマネー制度を創設、「環境に配慮した活動」をポイント化し、流通させることを通じて、市民が楽しく環境活動に参加できる社会づくりを図る。

洞海湾環境改善プロジェクト

5,000 (港湾空港局)

洞海湾の更なる水辺環境の改善を図るため、環境修復や海辺の景観の魅力づくりに市民と協働で取り組む。

<優れた「環境人財」を産み出す>

環境教育の推進

13,400 (教育委員会)

学校、地域、行政などが連携した環境教育を推進し、子どもたちが環境に主体的、実践的に取り組む態度、能力を育成する。

北九州市環境人財育成総合計画推進事業

9,200 (環境局)

環境首都の実現のために人財バンクを導入するなど、北九州市の優れた環境人財の育成と環境教育を推進する。

<地域コミュニティを活かす>

八幡東田地区グリーンビレッジ推進事業

3,976 (環境局)

八幡東田地区において、住民や事業者等との協働により、具体的な環境活動を通じたコミュニティづくりを推進する。

<環境技術を創造し、産業化する>

環境未来技術開発助成事業

150,000 (環境局)

新規性、独自性に優れた環境技術の実証研究等に対して、研究開発費の助成を行う。

北九州エコタウン事業

153,766 (環境局)

環境保全施策と産業振興施策を統合した独自の地域施策として、基礎研究、実証研究、事業化の3点セットで、環境・リサイクル産業の振興を図る。

環境国際ビジネス促進事業

10,300 (環境局)

市内企業による中国、マレーシアの鉄鋼スラブなどの環境国際ビジネス展開を支援する。エコタウン事業については、市内企業と連携し、ビジネスベースでの海外へのノウハウ・技術移転を目指す。

<資源の循環利用に取り組む>

エコプレミアム産業創造事業

3,000 (環境局)

環境に配慮した製品を市内から発掘し、広く普及啓発を図ることで、環境に配慮したモノづくりなど産業のグリーン化を推進する。

都市型園芸農業推進事業

20,817 (経済文化局)

農家等が必要な生産設備等の整備を支援し、環境に配慮した農業の実践を促進する。

<自然と賢くつきあい、守り、育む(水辺と緑のまちづくり)>

市民と自然のふれあい推進事業

3,700 (環境局)

エコツアー等の開催を通じ、市民の自然環境に対する関心を高め、自然を守り育む意識の形成を図る。

到津の森公園整備事業(再掲)

186,000 (建設局)

良好な水辺環境の創出(一部再掲)

150,000 (建設局)

河川や溜池など、市民の親しめる水辺空間を創出したり、生態系に配慮した自然にやさしい水辺づくりを推進する。

合流式下水道改善事業

4,160,000 (建設局)

(他に債務負担1,620,000)

合流式下水道整備区域で、雨水管の布設、雨水滞水池の設置、都市水路の再生計画などを進め、雨天時における川や海への水質汚濁を抑制する。

<都市の資産を守り、使いこなし、美しさを求める(美しいまちづくり)>

道路維持事業(計画的な維持管理による施設の長寿命化)

1,528,260 (建設局)

データベースの構築、施設の劣化予測や評価手法等を基に、計画的な維持管理を行い、道路施設の長寿命化を図る。

市営住宅維持管理・整備事業

6,217,046 (建築都市局)

(他に債務負担1,665,319)

市営住宅の計画的な維持管理を実施することで市営住宅の長期使用を図るとともに、老朽化の進んだ住宅を計画的に建替える。

まち美化推進事業

84,490 (環境局)

まち美化運動に市民、NPO、企業、行政が一体となって取り組み、清潔で美しいまちづくりを推進する。

廃棄物処理施設の改修更新

5,337,000 (環 境 局)

ごみ処理工場及び最終処分場の計画的な維持管理や更新を行うとともに、環境負荷の削減に配慮した施設運営を行う。

勝山公園(シンボル公園)の整備(再掲)

740,600 (建 設 局)

<都市の環境負荷を減らす>

新 ヒートアイランド対策推進事業

10,000 (環 境 局)

緑化や水循環を視点とした街路整備や公共交通の利用促進などにより、都心部におけるヒートアイランド対策等を推進する。

新 まちのエネルギーシェイプアップ事業

5,500 (環 境 局)

地球温暖化対策について、市民や事業者による自主的な取組を支援するほか、地球温暖化対策に資する情報提供などを行う。

地球環境や沿道環境の改善に貢献する道路の整備

21,056,000 (建 設 局)

交通の円滑化を図る幹線道路ネットワークの整備等により、排気ガスの排出等の環境負荷を低減させる。

環境保全・省エネルギー対策を推進する水道

182,000 (水 道 局)

力丸水力発電事業や浄水汚泥の有効活用等、環境保全策に積極的に取り組むとともに、省エネルギー対策を推進する。

新 家庭ごみの資源化・減量化推進事業

472,638 (環 境 局)

資源の枯渇や地球温暖化などの地球環境問題に対応して、ごみの資源化減量化を一層促進するために、「手数料の改定による減量意識の向上」「リサイクル・分別の仕組みの充実」という二つの施策に取り組む。

古紙リサイクル推進事業

314,430 (環 境 局)

古紙の回収活動を行う集団資源回収団体を支援するとともに古紙回収の未実施地域の解消に努め、全市的に古紙のリサイクルを推進する。

(6) 東アジアの拠点都市

「東アジアと繋がり、共に成長するまち」を目指す
発展が続く東アジア(環黄海圏)への日本の玄関口であるという地理的な優位性を活かして、国際人材ネットワークの構築、経済交流などの都市間連携の推進、世界に向けた情報発信能力の向上を図る取り組みを推進する。

< アジアとの都市間連携を進める >

新 国際相互理解促進に向けた青少年交流推進事業

1,780 (経済文化局)

次世代を担う青少年を対象とし、東アジアを中心とした海外諸国との相互理解促進を図るため、海外の青少年が修学旅行や研修で北九州市近郊を訪れる機会を利用し、また、その機会を積極的に創出して、小・中・高校レベルでの国際交流事業を実施する。

新 日豪交流年を契機としたオーストラリアとの交流推進事業

2,400 (経済文化局)

2006年の「日豪交流年」及び「新北九州空港開港」を記念し、国際交流団体との協働のもと、市民、とりわけ次世代を担う青少年を対象とした異文化理解促進のための事業を実施する。

環境国際協力推進事業

28,290 (環境局)

世界的に高く評価されている本市の環境国際協力、地球環境保全事業を基盤として、多くの環境国際協力プロジェクトを効果的に実施し、本市の世界的な知名度の更なる向上、地球環境保全への貢献を通し、「世界の環境首都」の実現を目指す。

新 アジアの環境人材育成拠点形成事業

8,000 (環境局)

これまでのアジア諸国との環境国際協力の経験やエコタウン事業などの3Rの取り組みを活かし、アジアの人材育成拠点を目指す。特にニーズの高い環境保全・3R研修コースを立ち上げるほか、研修受入機関の能力向上を図るための研修を行う。

新 上下水道の国際技術協力部門の創設

5,000 (水道局)

上下水道の国際技術協力部門を創設し、専門家派遣及び海外からの研修生受け入れを進める。

< 東アジア(環黄海)都市間連携を推進する >

東アジア(環黄海)都市会議事業

9,950 (企画政策室)

環黄海地域の都市間ネットワークを充実するため、東アジア都市会議を運営し、会員都市間における協力と連携を強化する。

東アジア(環黄海)経済交流推進機構推進事業

15,000 (企画政策室)

東アジア経済の中核を担う環黄海経済圏の発展を図るため、東アジア経済交流推進機構の4部会「ものづくり、環境、ロジスティクス、観光」を軸として、経済交流を推進する。

観光客数 2,000 万人達成に向けた推進事業(再掲)

14,210 (経済文化局)

北九州学術研究都市留学生等支援事業(再掲)

114,720 (産業学術振興局)